

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年10月 9日

事業所名 放課後等デイサービスビリーブ笹原

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		利用定数については、指導訓練室などのスペースは十分に確保できている。1号館、2号館が隣接し、定員に合わせて利用者の分散化を図っている。	
	2	職員の配置数は適切である	○		配置基準十一名以上(常勤換算)の加算の職員配置をするとともに、それ以上の人員を配置している。また送迎時には違反とならないように、複数子どもが乗車する際は、確実に職員も複数乗車するようにしている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	玄関等の段差は変えられないが、スタッフの声かけ等で注意喚起を図っている。 また、室内ではマットなどのクッション材で安全を図っている。	民家を借りているため大規模な改装は難しいが、マットを敷くなど出来る限り段差を無くすように工夫をしている。現在車イス利用等の子どもはいないが、必要に応じて援助や声掛けなどを行いサポート体制を強化している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎日の報連相はしっかりしていると感じる。事業所内での会議を定期的に行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		1年ごとに実施し、評価・振り返りを行っている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		アンケート結果を取りまとめ、HPIにて公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		行っていないが、今後検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		入職時の研修や、研修計画に基づいて研修を行っている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		利用開始前に評価・面談(児童のアセスメント・保護者からの聞き取り)、支援会議を行った上で支援計画を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		事業所共通のアセスメントシートを利用し、内容の見直しや情報の更新もできるようにしている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		予約表の作成時に利用者に合わせた活動内容を話し合い、必要に応じて児発管や担当者を中心に情報共有・活動プログラムの調整をしている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		固定化しないように職員同士での共有、管理者のチェックをしっかりと行い、個々の課題に合わせて様々な経験を積めるようにしている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		長期休暇中は利用児童や保護者のニーズを確認し、企画・プログラムを作成している。季節行事や外出なども取り入れ、利用者の課題に合った経験ができるようにしている。	長期休暇等日々の業務に追われて、細かいところまで支援できていない時もあるので休暇に入る前に課題設定をして支援していきたい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		評価面談やモニタリング面談、日々の活動の中で利用者や保護者のニーズを確認しそれぞれの課題に合わせた計画を作成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		支援業務前に毎朝ミーティングを行い、情報共有を行っている。その日の担当者と他の職員で打合せなどを行い、支援にあたっている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		全ケース、毎回実施しているわけではないが、課題がある場合は職員間で子供の様子についての気づきを話し合い、情報共有を行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記録をとるとともに、職員間で共有し、改善につなげている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		感染症拡大防止のため電話対応となったが、半年に一回以上、モニタリング面談と支援会議を行った上で計画の見直しを行っている。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		それぞれの課題やニーズに合わせて活動・支援の組み立てを行っている。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		今年度は感染症拡大防止の対策で書面でのやりとりになっている。保護者とはその都度連絡を取り合っている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校数も多いため、連絡や確認などを早めに行っている。また案件によっては担任の先生と直接、または電話にて情報共有を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		今現在、医療ケアが必要な利用者はいないが、情緒・行動の安定等のため薬を服用している利用者があるため、定期的に保護者と連絡を取り合っている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		情報共有を行っている子もいれば、行っていない子もいる。情報が必要な場合は連携をとっている。	情報が必要な場合は積極的に連携を図っていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		これまでに対象となる子はいないが、必要があれば行っていく。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		専門療育実施機関同士の情報共有は定期的に行っている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		感染症が落ち着いたら、今後検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		基幹相談支援センターが主催する会議等に参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		毎回の利用時、連絡帳や送迎の際に、保護者と情報共有する機会を作っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		必要な保護者については助言などをさせていただいている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に全員に説明を行っている。変更があった時など必要に応じて文書を配布している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		子育て等の悩みや相談に関して回答が難しい場合は管理者に情報を伝え、電話や連絡帳等で迅速に対応している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		コロナ禍で開催が難しい状況だが、例年行っている。落ち着いたら、懇談会や交流会など実施していきたい。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		日々情報共有しながら、苦情に関しては担当者や管理者に報告し、管理者が最終的な判断や対応を行っている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		活動内容についての写真を配布し、文書などでも活動について発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	○		個人情報漏洩のため、社外への持ち出しは禁止している。また就業時の誓約書や規定などでも注意喚起を行っている。定期的に個人情報の管理について確認を行い、全職員で注意している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		口頭だけのやり取りだけでなく、必要があれば視覚的ツールを使用するなどして利用者に合わせた配慮を行っている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		今後検討していく。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		それぞれのマニュアルを作成し、職員や保護者様に配布し周知に努めている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的に避難訓練を行っている。	今後消防署などと連携を取りながら、講習や研修などを計画していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			虐待防止についての研修実施を計画しており、実施予定である。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		対象となる利用者は現在在籍しておらず、必要なケースが出てきた際については、十分に話し合いを重ね支援方法を検討していく。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		アレルギーある利用者を全職員把握し、クッキングなどで食物を使用する際は、保護者や職員間で確認を十分に行っている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		その都度管理者に報告を行っている。また記録を残し、職員間で共有している。	